



討議資料

# 県議会報告

各市町バラバラに行われて  
いますが、限られたワクチン  
を社会機能の維持などのため  
に有効に使うべきであり、県  
として統一的な指針を出すべ  
きです。

## 質問

介護従事者  
や放課後児童クラブ  
指導員などに対する  
ワクチンの優先接種

算に計上されました  
ので、その内容を聞  
きました。

## 背景や問題点

社会を動かすため  
に必要な一部職種の  
人に優先してワクチ  
ン接種する事例も増  
えており、県の考え  
方を質すとともに、  
繰り返し求めてきた  
中小企業支  
援が補正予

県議会6月定例会（6月23日～7月9日）では、新型コロナウイルス対策を盛り込んだ一般会計補正予算案（約241億円）、各種条例案など22議案が可決されました。

私の一般質問では、コロナ対策、災害対策、農業問題などを取り上げましたので、主な内容をご説明します。詳細は、井原すがこのホームページやブログでご覧下さい。



事務局

## コロナ対策

## 中小企業へ 早期の支援を

## 答弁

優先接種につ  
いては、実施主  
体の市町が実情  
を踏まえた対応  
をしています。県民のく  
らしを守る観点から、知事と19

## 答弁

業種  
を限定  
せず、  
売上が30  
%以上減少した中  
小事業者  
に対して、  
法人40万  
円、個人  
20万円を  
支給しま

## 質問

中小企業に対する  
「事業継続支援金」  
について、対象業種、  
支給要件を教えてください。  
手続きが煩雑で手元に  
届くのが遅いという不満があ  
りますが、給付までどれく  
らいの期間がかかるのですか。

市町長の会議で警察・消防、  
教職員、保育園、福祉施設の  
従事者等を優先することを確  
認しました。



## コメント

生活を守るために必  
要な一部職種（エッセ  
ンシャルワーカー）に  
早く接種することが県

民の安心につなが  
るはずであり、県  
が音頭を取り積極  
的に進めるべきで  
す。中小企業支援につ  
いては評価しますが、  
早期に支給されるよう  
注視していきます。

## 一般質問項目

(2021年6月30日)

- 1 新型コロナウイルス  
対策について
- 2 災害対策について
- 3 農業問題について

す。また、予算成立後、でき  
るだけ早期に支給されるよう  
進めます。

## 第7、8回 すがこと話そう!

日時 8月6日(金)  
場所 第7回 岩国市民会館 第二研修室  
10時から  
場所 第8回 山水堂 北河内瓦谷  
13時30分から  
広中英明市議参加



# 災害対策

## 背景や問題点

近年の豪雨災害の多発に対応して変更された避難情報

されましたが、その発令基準、住民に求められる行動を教えてください。

## 答弁

警戒レベル4の土砂災害警戒情報を基準にして、市町が

## 質問

菅野ダムでも、従来の台風の接近を前提条件にするのではなく、国の「事前放流ガイドライン」を参考に予測降雨量を基準に事前放流を実施できるよう、早急なルールの見直しが必要です。

## 答弁

西日本豪雨など集中豪雨が頻発し

## 質問

「大雨警報」などが5段階の警戒レベルで発表され、市町が発表する「避難勧告」が廃止され「避難指示」に一本化

「避難指示」を発令します。警戒レベル3の「高齢者等避難」で高齢者や障害者などが、警戒レベル4の「避難指示」では、住民全員が避難する必要があるとあります。

# 菅野ダム事前放流ルールの見直しを

ているので、菅野ダムの台風以外の豪雨も対象にした事前放流について、関係利水者への影響も考慮しながら慎重に検討していきます。



のコメント

菅野ダムは「利水者への影響が大きいので慎重に」などと言っています。が、先日も熱海で豪雨災害が起こっており、県民の命とどちらが大切なのか言うまでもありません。待ったなしの課題として早急に対応すべきです。

# 議会TOPIC

今秋に実施される予定の衆議院選挙で、山口3区に立候補を予定している2人の自民党有力現職議員の動きが活発化しています。

## 議会としての品格？

自民党本部と県連の推薦する候補者が異なるという「ねじれ」が生じています。それが起因しているのか、今議会では代理戦争と言われた秋市長選挙で誕生した新市長（県連が推薦した候補）に対する批判を、本会議であげつらう場面が度々あり、議場にいるのが恥ずかしい思いでした。



傍聴記

先般県議会を傍聴し、実際に農業に携わるひとりとして感じた事柄を述べます。

井原議員の質問に対する県の答弁は、JA山口県種苗協会及び山口県職員の資質に問題があると認められ、また議員や米作農家をないがしろにしているとさえ感じました。

## 県は農業の現場を知らない

J A 山口県が発行している稲作栽培基準に従い、種籾を購入、塩水選で不良種子選別した結果、1/4から1/5が不良種子でした。不

購入量に応じて補助金を支出する予算を可決し、執行しようとしています。この問題の根本はどこにあるのでしょうか？また農家は年金から出費してウンカ害虫、イモチ病対策をしなければならず、さらに毎年同数の種苗箱では足りない事態が起こり、再出費となった農家もいます。

しかし、山口県農林水産部長の答弁は、「今後関係機関を厳正に指導します」の一言でした。私は、一県民、農家の者として、日本人の主食米生産に危機感を覚えました。

(柳井市日積 70代 農業)

### 井原すがこ後援会事務所

郵便 740-0017  
住所 岩国市今津町 4-11-20  
コーポビル本 1階  
電話 0827-21-9808